

アプリケーションノート - 未検出のRS485フォロワーデバイスのトラブルシューティング

バージョン履歴

- バージョン 1.3 (2020年7月)
 - SetAppセクションのRS485の用語をリーダーとフォロワーに変更
 - SetAppフローを更新
- バージョン1.2 (2018年6月) - SetAppの使用を追加

はじめに

RS485通信オプションを使用して複数のソーラーエッジデバイスをリーダー/フォロワー構成で接続した場合、フォロワー検出が完了すると、リーダーデバイスのLCDまたはSetAppにフォロワーデバイスのリストが表示されます。

リーダーに正しい数のフォロワーが表示されない場合、以下の方法で不足しているフォロワーを特定し、接続の問題をトラブルシューティングすることができます。

1. フォロワーリストを分析し、不足しているフォロワーを確認します。この機能はCPUバージョン3.14xx以降で利用可能です。
2. ロングフォロワー検出を実行することで、リーダーデバイスのスキャン時間を長くし、より多くのフォロワーの検出を行います。この機能は、LCD搭載パワーコンディショナではCPUバージョン3.22xx以降、SetApp構成のパワーコンディショナではバージョン4.2.xxxから利用可能です。

本書では、以下について説明します。

- デバイスチェーン（バス）上でリーダーとして構成されたソーラーエッジデバイス（例：パワーコンディショナやコミュニケーションゲートウェイ(CCG)）でフォロワーリストを表示する方法です。
- ロングフォロワー検出の方法

SetAppを使用

→ リーダーデバイスでフォロワーリストを表示：

1. SetAppでリーダーパワーコンディショナと接続し、**試運転** → **サイト通信** → **RS485** (1または2) → **フォロワー検出** を選択してください。
2. フォロワー検出後、フォロワーが検出された場合RS485メニューに追加のメニュー項目が表示されます。：**フォロワーリスト**と表示されます。

検出されたフォロワー数がリーダーに接続されたフォロワー数と一致しない場合、フォロワーリストを使用して検出されていないフォロワーを確認し、そのRS485配線を確認してください。

3. **フォロワーリスト**の矢印をタップしてください。検出されたフォロワーのシリアル番号を示すリストが表示されます。

■ **ID** : デバイスのシリアル番号

■ **最終通信** : 最後にリーダーデバイスと通信した日時 (dd:mm:yy 24h)。リーダーの起動後に初めてこのデバイスが検出された場合、情報として**該当なし**と表示されます。

検出中は検出されたフォロワー数とプロセスバーが画面に表示されます。戻る矢印をタップすると、RS485画面に戻り、**フォロワー検出 : 進行中**と表示されます。

→ **ロングフォロワー検出を実行** :

検出されたフォロワー数が、リーダーに接続されているフォロワー数と一致しない場合、ロングフォロワー検出はより多くのフォロワーデバイスを検出する可能性があります。

設定メニューから、サイト通信 → **RS485** (1または2) → **ロングフォロワー検出**を選択してください。リーダーは60分間、または停止ボタンをタップして停止するまで、フォロワーを検出しようとします。この間、検出されたフォロワーの3つのLEDはすべて点滅し、検出されていないフォロワーを簡単に識別することができます。



注記

フォロワー検出またはフォロワーロング検出を停止するには、停止ボタンをタップすることでいつでも行えます。

パワーコンディショナ表示 (LCD) の使用

→ **リーダーデバイス上でフォロワーリストを表示する場合** :

1. フォロワー検出後、フォロワーが検出された場合RS485-X構成メニューに次の追加メニュー項目が表示されます : **フォロワーリスト**

検出されたフォロワー数とリーダーに接続されているフォロワー数が一致しない場合は、フォロワーリストで検出されていないフォロワーを確認し、RS485配線を確認してください。

2. **フォロワーリスト**を選択します。検出されたフォロワーのシリアル番号のリストが表示されます。

```
5000FE01-4F
5000FE02-50
.
.
```

3. 検出されたフォロワー機器の詳細を表示するには、該当するシリアル番号のエントリーを選択してください。

```
ID: 5000FE01-4F
Last Communication
17/02/2015
14:24:01
```

- **ID** : デバイスのシリアル番号
- **最終通信** : デバイスがリーダーデバイスと最後に通信した日時 (dd:mm:yy 24h)。リーダー起動後に初めてこのデバイスを検出した場合、この情報に対して**該当なし**が表示されます。

→ **ロングフォロワー検出を実行** :

検出されたフォロワー数がリーダーに接続されたフォロワー数と一致しない場合、ロングフォロワー検出により、より多くのフォロワーデバイスを検出することができます。

メインメニューから通信 → **RS485** 設定 → **ロングフォロワー検出**を選択してください。リーダーは60分間、または内部のユーザーボタンやLCDライトボタンが押されるまで、フォロワーの検出を行います。この間、検出されたフォロワーのLCDが点灯・消灯し、未検出のフォロワーを容易に確認することができます。

```
Detecting Slave
<xx> slaves detected
Any Button to Abort
```